

中国の祭日

2012.4.29

国際文化学部国際文化学科

10011019 木村 芽依

10011036 二之宮冨美

今回のテーマは「中国の祭日」です。中国には日本と同じようにたくさんの祭日があります。その中から、代表的なもの、経験したものを詳しく調べてみました。

【春節】

<春節とは…>

春節とは、日本でいう旧暦の正月です。太陰暦に基づいているので、連休の詳細はその都度発表されます。ちなみに、今年の旧正月は1月23日でした。

<春節の食べ物>

北京などの中国北方では春節に餃子を食べます。大みそかから家族が集まって餃子を作ります。年越しに餃子という習慣は明の時代ごろから始まりました。餃子がとてもおいしく、形が金子、銀子に似ていて縁起がいいからだと言われています。南方では餃子の変わりに湯圓を食べます。中に入っている白玉が満月のように丸く、銀元（昔のお金）のように白く、また発音が団圓（トアンユエン）に近いことから、家族団欒・幸せのシンボルとされています。

<飾り付け>

春節の飾り付けは、赤、金、銀を基本としたきらびやかなものです。その代表的なものは「福字」・「春聯（しゅんれん）」などです。福字とはその名のとおり、「福」と大きく書かれた飾り物で、家の門や壁に貼ります。「倒」と「到」の発音が同じことから、「倒福（福が逆さま）」＝「到福（福が訪れる）」の意味を表して、「福」を逆さに貼る家もあります。



【清明節】

<清明節とは…>

清明節とは、日本でいうお盆で、先祖の墓を参り草むしりをしてお墓を掃除する日であり「掃墓節」とも呼ばれていました。

<清明節の食べ物>

上海周辺では「青团」という緑鮮やかなあんこ入りの草団子、福建省では「潤餅」というクレープ、広東省では「芥菜/カラシ菜」など、各地方によって様々な伝統料理を食べるようです。



青团

【労働節】

<労働節とは…>

労働節は、正式には国際労働節といい、米国や日本では「メーデー」と呼ばれるものです。1886年に労働者が毎日8時間の作業精度を求めるストライキを起こし、勝利したことによりできた世界的な休日です。

<私たちの労働節>

今日から労働節になりました。吉川くんも日照に遊びにきてくれたので、これからみんなで青島に旅行に行く予定です。

【中秋節】

<中秋節とは…>

中秋節は旧暦の8月15日です。中秋の夜は、月がもっとも明るく、もっとも丸く、月の光ももっとも美しいとされ、中国人は月の丸いのを団らんの象徴と見なし、このため八月十五日を「団らんの節句」とも呼んでいます。

<中秋節の食べ物>

家族や親しい友人が集まり、「月餅」を食べる習慣があります。月に見たて丸く、平たい形は共通で、大きさ、材料、中に詰める餡などは各地方によって異なります。

月餅は「嫦娥奔月」という神話のもとになり食べられるようになりました。



【国慶節】

<国慶節とは…>

国慶節とは中華人民共和国の建国記念日（1949.10.1）です。中国最大の祝日とされ、各地で様々な催しがおこなわれます。北京の天安門広場には毎年、巨大な花と植木のアレンジメントなどが飾られます。

去年の夏北京に行った際、天安門広場に国慶節のために建築中の巨大な球体を見たので次回は出来上がったものを見に、国慶節を体験しにもう一度北京を訪れたいと思います。



天安門広場で建築中の球体

【余談】

先日、並木道を歩いて桜もどきを觀賞しつつおしゃべりに海まで散歩に行きました＼(^o^)/ 2時間弱かかりました…

